(桜川市行政評価システム) 記入年月日 平成29年度 事務事業評価表 A ( 平成28年度 の実績評価) 平成 月 22 事業区分 事務事業名 市設置型浄化槽維持管理委託事業 新規/継続 継続 事務事業No. 040703000131 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 070101 所属課 O4O7 | 下水道の整備 ○4 | 快適で潤いのある生活環境づくり 総合計画の施策名 主要事業 下水道課 市長マニフェスト 政策名 未来PJ事業 工務・浄化槽G 施策名 07 下水道の整備 グループ 03 下水道事業の安定した経営 合併建設計画事業 系 基本事業名 財務会計上の位置付け 事業期間 会計款 事業 農業集落排水事業特別会計 単年度繰返し ( 平成18 年度~) 細 予算科目 04 02 01 01 02 00 市設置型浄化槽整備事業 □⇒ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 桜川市市設置型浄化槽維持管理条例 事務事業の現状把握(その1)  $(D_0)$ (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ①浄化槽保守点検業務、汚泥汲み取りの委託契約 桜川市の市設置型浄化槽維持管理委託は、浄化槽管理点検業務、汚泥汲み取 り運搬汚泥処分業務となっている。委託業務以外では、浄化槽の修繕や法定検 ②保守点検の報告書から、汲み取り業者への汲み取り依頼 ③保守点検報告書で浄化槽に不具合があるときの修繕依頼 香を行っている。 浄化槽管理点検業務は、年3回の定期点検を行っている。 汚泥汲み取り運搬 汚泥処分業務は、定期点検結果から、汚泥汲み取りが必要とされる浄化槽の汲 汲み取り件数 317件 浄化槽修繕件数 み取りを行う。 25件 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 指標値の推移 27年度 29年度 30年度 28年度 31年度 ①手段 (担当者の活動内容) (活動量を表す指標) 単位 4)活動指標 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) % 水質基準適合率 96.50 9800 100.00 100.00 100.00 ①浄化槽保守点検業務、汚泥汲み取りの委 託契約 0,00 0.00 0.00 0.00 0,00 ②保守点検の報告書から、汲み取り業者へ の汲み取り依頼 0.000.00 0.000.000.00③保守点検報告書で浄化槽に不具合がある ときの修繕依頼 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 27年度 29年度 30年度 31年度 28年度 ②対象 (誰、何を対象にしているのか) 単位 ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 使用者 人 1,644.00 1,739.00 1,860,00 1,980.00 2,100.00 浄化槽使用者 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.000.000.000.000.0027年度 30年度 31年度 28年度 29年度 (この事業によって対象をどう変え (対象における意図の達成度 ③意図 ⑥成果指標 単位 を表す指標) るのか) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 点棒回数 300 300 300 300 300

(	3)	7 121 12 13 113 17 1 12 13			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定	
	.07				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	総投入量	
	業費		国庫支出金	千円	0	0	0	C		0	
		財	県支出金	千円	0	0	0		0	0	
投		源	地方債	千円	0	0	0		_	0	
		内	使用料・手数料		20,250	21,923	29,607	31,400	33,200	0	
		訳	その他	千円	0	0	0		0	0	
入			一般財源	千円	0	0	0		,	0	
			₿業費計(A)	千円	20,250	21,923	29,607	31,400		0	
	人件費		規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
量			述べ業務時間	時間	429.00	497.00	510,00	530.00	550,00		
		)	、件費計(B)	千円	1,245	1,442	1,480	1,538	1,627		
	T	<u>`</u> ータ)	レコスト(A)+(B)		21,495	23,365	31,087	32,938	34,827		
	28年度事業費 実績(千円)						29年度事業費 予算(千円)				
	11	需用		5,445			11 需用費	7,283	3		
<u></u>		役務		1,945			12 役務費	2,414	1		
事	13	委託	约	14,533			13 委託料	19,910			
業費											
りの											
内											
訳											
0/ \											
					合 計	21,923			습 計	29,607	
(	(4)	当該年	F度の実施内容		29年度の事業内容	容  30年度の事業内容			31年度の事業内容		

10.00

0.00

mg

10.00

0.00

10.00

0.00

10.00

0.00

10.00

0.00

BOD

維持管理を適正に行う。

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

・主要事業・市長マニフェスト・未来PJ事業・合併建設計画事業

Ц		置型浄化槽維持管理委託事業	事務事業No.	40703000131	所属課	下水道課							
	Do】 1. 事務事業の現状技 5) この事務事業を開始した	<sup>也姪(その2)</sup> きっかけは、いつ頃どんな経緯で開始され	たのか? 開始時期ある	るいは5年前と比べてどう	変わったのか?								
		こめ、それに伴い開始した。 浄化槽の維持											
	0) = 0 = 25 = 24		5+\										
	(6)この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 浄化槽整備事業で設置される浄化槽は毎年増えていき、半永久的に市が管理をしていくので、維持管理費の増大が懸念されている。												
	77 TOTAL MIST SIX CONCECTION	233 TOTALIST THE CO. 1 13 15 TOTALIST		WE13 C1-EXC1210 (10 10HD									
(	(7)前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容												
	広報による知識の向上、また電話や訪問による指導をする。 汚泥引抜業務の1t当たりの単価がどのような経緯で今の単価になったのかを調べ、長い期間をかけて精査していく。												
	/ フルロコルス末3カシェ に当たりの手間としてのの フタルエッキ く フッチ間にな フルのか でこう 、 「文マ 1分司でんだ」(特国 ひてい)。												
	See】 2. 評価の部	*原則は事前評価。	/T - T										
	①政策体系との整合性 (こ	評 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか	価項目 い?意図することが結果に	<b>結びついているか?</b> )									
目		茨城県の生活排水ベストプランに基づき			ある市として	一 地域全体の水質保全							
的	結びついている	に結びつく。	いっている。はては木	いっし ここうい 八畑(み)用()	U U U C.	心物上げり小貝体土							
妥当	② 公共関与の妥当性 (なt	」 ぜこの事業を市が行わなければならないのか?種	党金を投入して、達成する	目的か?)(法定受託事業は	(その名称)								
性	妥当である	   市では条例化しており、快適な潤いある	ホとして 地域全体の	k質保全に結びつき 使用	割りを舎加り、 質	を 野な宇施している							
	<u> </u>	でに不同じて65分、	市として、	八貝は土に加しって、反方	M4 E BA O C	, 建と火泥している。							
	③ 成果の向上余地 (成果を	を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とは	るべき水準との差異はな	いか?何が原因で成果向上が	期待できないのか	1?)							
	向上余地がある	不具合等に対し、素早い対応を取ること	で、100%に近い水実	基準適合率を目指す。									
		 響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の <sup>3</sup>	5年とその中容は?)										
有		3 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の)	月無こての内容は?)										
有効性	影響有	維持管理が不能になり、水質悪化や環境	悪化となる。										
11		」 隽の可能性 (類似事業や統廃合の可能性があ	りますか?(市以外の取り	り組みも含む))									
	(他に手段がある場合) 二 具体的な手段、事務事業名												
	余地がない	個人の敷地に設置してあり、他の事業と	の連携はとれない。										
郊													
率性													
公													
4平性	公正・公平である		スので溶却でもス										
性	ΔE• ΔΨ (ωδ)	使用者から人数割りで負担して頂いてい	るので適切である。										
_		ちと今後の方向性(次年度計画と予算へのM	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *										
(	1) 1次評価者としての評		,	ク、以自品) 持管理委託費の削減、汚泥		<u></u>							
	①目的妥当性 ■ 適切	□ 見直し余地あり											
	②有効性 □ 適切 ③効率性 <b>■</b> 適切	■ 見直し余地あり <b>☆</b> 見直し余地あり											
	④公平性 <b>■</b> 適切	□ 見直し余地あり											
(3	3) 今後の事業の方向性				( 1 ) ====								
			数回答可)	7		・改善による期待成果・休止の場合は記入不要)							
	□終了 ■継続 ー		目的の再設定 [   一切   一切   一切   一切   一切   一切   一切   一切	] 効率性の改善   ] 公平性の改善	T	コスト							
	□ 廃止 □ 休止	I _ : : : : : : : : : : : : : : : : : :		」 連携ができる		削減 維持 増加							
(	5) 改革、改善を実現する	b上で解決すべき課題(壁)とその解決策			向 上								
広	電話や訪問にすることで浄化	で、槽の正しい使い方を指導をする。			成維								
汚	泥引抜業務の1 t 当たりの単	値がどのような経緯で今の単価になった <i>0</i>	Oかを調べ、長い期間を	かけて精査をしていく。	果特低								
		下											
		(6) 東黎東 学 原 生 伊 証 価 丝 甲											
			(6)事務事業優先度評価結果										
					コスト削減優欠	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
		直改善に向けての指摘事項	(つ) 並に 正 女 = 5 1 1 2 7 1 2 - 7 1 2 - 7 1 2 - 7 1 2 - 7 1 2	☑価 (課長評価により、(		変数が必要な過少)							
	1) 課長評価		(2) 部長確認及び評	☆ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	」、 レ刊 上及 ひ竹	E可M/1/20安は場合/							
	課長確認後の評価 - ^・縲矯(現ば縦	(古) (2) (成了 (南) 上 (十) 上	確認欄										
	A: 継続(現状維)   B: 継続(改革改												